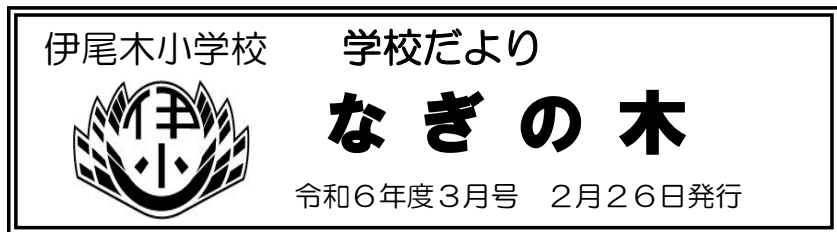


教 育 目 標 : 『豊かな心を持ち 共に学び合う 元気でたくましい伊尾木っ子の育成 』
めざす子ども像 : (1)主体的・協働的に学ぶ子 (2)「思いやりの心」「感謝の心」「たくましい心」そして、健康な体を持つ子
(3)臆せず堂々と表現でき、コミュニケーション力を持つ子 (元気にあいさつができる子)



☆ いよいよ本年度最後の月 ☆

早いもので、暦は弥生3月へと歩みを進め、いよいよ本年度の最後の月になりました。子どもたちは、学年のまとめに一生懸命取り組んでいます。風邪などでの欠席もほとんどなく、子どもたちは元気に登校しています。

24名の子どもたちは無事、各学年のゴールを迎えようとしています。6年生は3月21日(卒業式)、母校を巣立っていきます。残された日を悔いなく過ごしてほしいと願っています。

☆ 学習発表会 ☆

2月1日(土)地域の方をお招きしての学習発表会を開催しました。たくさんの観衆に緊張しながらも、子どもたちはこの1年の学習の成果を堂々と披露することができ、貴重な経験をさせていただくことができました。ありがとうございました。



☆ 夜間避難訓練 ☆

2月22日(土)今年度第3回(第1回は雨天中止)の夜間避難訓練を行いました。寒い中でしたが、24名の参加者で、いざという時の行動を確認し合いました。



☆ 市制70周年記念桜植樹 ☆

2月25日(火)安芸市制70周年を記念するとともに、多くの人に親しまれている東山森林公園の名所を増やし、より魅力ある森林公園にするための桜の植樹に、5・6年生が参加させていただきました。本校の児童が植樹をさせていただくのは4回目となるようで、着実に名所を増やすお手伝いをさせていただいています。6年生の卒業を間近に控え、5年生にとっても、6年生にとっても、よい思い出となった行事でした。



☆ 高知県学力定着状況調査 ☆

12月3日(火)に高知県の小学4・5年生と中学1・2年生を対象とした高知県学力定着状況調査が実施され、その結果が公表されました。本校の調査結果は、5年算数において高知県平均正答率並みとなった以外は県平均を下回るという厳しい結果が出ました。すでに、1月に自校で採点した結果をもとに、十分な力がついていないところへのフォローをしているところです。個人票及び問題冊子・答案用紙は3月中に、安芸市版学力調査の個人票等と合わせて、授業の中で返却します。学校では不十分だったところをフォローしていくとともに授業改善を図っていきます。家庭学習においても、それぞれの弱点克服にお役立ていただければと思います。

☆ 学校評価アンケート

ご協力ありがとうございました ☆

1月に児童・保護者・地域の方を対象に学校評価アンケートを実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果(概略)をお知らせします。

【評価基準】

- ・肯定的評価(「そう思う」、「だいたいそう思う」)が80%以上ならば、「概ね満足できる取組がなされている」と捉えました。
- ・肯定的評価が80%未満の項目は、学校の取組が不十分かもしれないと考え、取組を点検し改善策を考えるようにしました。

※児童用アンケートの分析

- (1)児童アンケート結果は、すべての項目が80%以上でした。
- (2)あえて、否定的な評価(あまり思わない、思わない)が他の項目より高い項目を見てみると、「⑩給食を残さず食べている。」12.5%でした。



個人差もあると思います。一人ひとりに合った量を残さず食べるために工夫できることはないか検討していきます。

※保護者アンケートの分析

◎肯定的評価(そう思う・だいたいそう思う)が80.0%未満のうち、著しく低い項目は、「⑤お子さんは、悩みや困ったことについて、先生に相談していると思いますか」(57.9%)、「⑥あなたは、お子さんについての悩みや困ったことについて、教職員(学校)に相談していますか。」(68.4%)、「⑩お子さんは、授業が分かっていると思いますか。」(68.4%)でした。



「分かりやすい授業」、「相談体制の充実」、に関する取組が弱いことが推察できます。両方とも非常に大事な項目だと思います。児童や保護者が相談しやすい学校づくり、みな「わかった!」という授業づくりに力を入れていきたいと思っています。

また、学校に力を入れて取り組んでほしいことについては、児童では、「⑧怪しい人が入って来たときや地震のときの安全に力を入れてほしい」(16.9%)、「①よくわかる、楽しい授業になるようにしてほしい」、「③子どもが中心となって計画できる学校の行事を増やしてほしい」、「⑤いじめや暴力をなくすようにしてほしい」(ともに15.5%)で割合が高くなっています。

保護者では、「①分かりやすい授業をする」(20.7%)、「②将来のことについて考える機会を設ける」、「③教員の資質・指導力を向上させる」(ともに13.8%)の順に割合が高くなっています。

学校としては、これら結果を踏まえて、肯定的回答(「そう思う」、「ややそう思う」)が80%未満の項目は、学校の取組が不十分かもしれないと考えて点検し、次年度の教育活動の改善を図るようにしていきます。

裏面に、3月と令和7年度4月の行事予定を載せています。ご覧ください。